

1. 学校法人 法輪学園 ほうりんこころ幼稚園

【 広島市安佐南区伴南1丁目5-6 】

2. 令和3年度の活動概要

(1) 環境に関すること

ぼうけんの森の入口通路…広場の手前の斜面は、子どもたちの上り下りが難しいため、目で見えて楽しめるように、桜の苗木を植えた。数年後には、子どもたちと満開の花を楽しみたいと思う。

ぼうけんの森の広場…自然界に虫や生き物が発生するのは自然なことであるが、初夏から初冬にかけて、大きなスズメバチの巣が土の中に形成されていたため、スズメバチや大きなやぶ蚊が大量発生し、駆除に時間を要した。子どもたちは、毒性のある虫とない虫の区別がつかないため、図鑑で調べたり、自然分野専門の先生に尋ねたりするなど、虫の特性を知ろうとする意欲がわき、積極的に取り組む姿がみられるようになった。

さくらの広場・芝草ひろば・こころの庭の斜面…さくらんぼやヨモギ、タンポポなど、子どもたちがごっこ遊びや、色水あそびに使用できる木の実がたくさん実った。花びらや木の実を使った自然遊びが充実していたように思う。

(2) 特に印象的だった遊びの事例に関すること

<身近な自然を活かして>

◆◆野菜の苗を植えたよ（年長組）◆◆

食育の一環として、年長組の子どもたちが春に夏野菜の苗を植えました。

5クラスで何の野菜を植えたいか話し合い、レタス・サニーレタス・

枝豆・はつかだいこん・きゅうり・トマト・オクラ・なす・ピーマン・かぼちゃ・綿の11種類。

苗植えの後は、毎日みんなで水やりをして、大切に育てました。すくすく生長した夏野菜もいよいよ収穫のときをむかえました。野菜を収穫するその表情は真剣そのものです。



待ちに待った給食の時間。「自分たちで育てた野菜はおいしいね。」と野菜嫌いな子どもたちも、みんな美味しそうに食べることができました。

◆◆葉っぱでたくさん遊んだよ！（年長組）◆◆

《見立て遊び》

ぼうけんの森で拾った、タンポポや葉っぱ、小枝で様々な遊びを楽しみました。



両面テープを付けた空き箱に、拾った草花や木の実、小枝を貼り付けた「見立てあそび」をしました。

草花を貼り付けながら、「〇〇みた〜い」と、友だち同士で会話が繰り広げられ、楽しい時間が流れていきました。動物や自分の顔に見立てる子

どもたちの想像力はどんどん膨らんでいきました。

《葉っぱの叩き染め》

さくらの広場や、ぼうけんの森で拾ったヨモギやタンポポを布の下に挟み、布の上をトンカチでトントン叩くとあら、不思議…。叩いた草花の色や模様が写しだされました。いろんな草花をトントン叩いていくうちに、「どうやったらきれいな色が出るんだろう?」「どの葉っぱの色が出やすいんだろう?」等、子どもたちの方から様々な疑問点があがってきました。「柔らかい葉っぱの方が叩きやすいから色がやすいのかな?」「色が濃い葉っぱの方がきれいな色が出やすいのかな?」など、子どもたちは試行錯誤しながら叩き染めをしていました。使わなかった葉っぱは、目玉シールを貼ったり、絵を描いたりしながら、素敵なタペストリーへと変身しました。



《色水あそび（年中組）》

さくら広場にはたくさんのサクランボや草花が息しています。今年子どもたちと一緒にサクランボをたくさん収穫しました。拾っているうちに「先生、不思議?! 指が赤くなってるよ!」という声が聞こえてきました。すると、「先生、つぶれたさくらんぼをさわったら、手が赤くなったよ」と何やら不思議そうな表情。そこで、拾ったさくらんぼと水をビニール袋に入れ手で揉んでみました。すると…。無色の水が赤い水に大変身! 子どもたちも大興奮でした。サクランボだけではなくタンポポやハルジオンの花からも色水つくれるのかな? 等と、様々な草花で色水あそびを楽しんでいました。



◆◇木の実のケーキづくり（年少組）◇◆

「きのみのケーキ」（福音館書店）という絵本の読み聞かせを子どもたちにしたところ、「私たちもきのみのケーキをつくりたい」という声が聞こえてきました。すぐに、お手製のマイバックを持参してぼうけんの森やさくらの広場へでかけ、どんぐりやまつぼっくり、ナンテン等の木の实や小枝、葉っぱなどを拾いに行きました。



紙粘土をコネコネし生クリームに見立てて木の土台に貼り付け、いよいよ木の実のケーキのデコレーションが始まります。素敵な作品に仕上がりました。

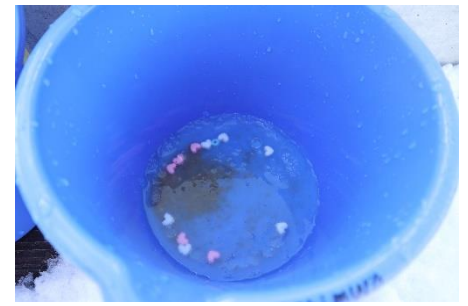


◆◇どうして氷ってできるの？（年中組）◇◆

安佐南区伴南にある、こころ幼稚園は冬になるとほぼ毎日雪が降り、ひどく降り積もる時には園内のいたるところに、「つらら」ができるほど寒い日々が続きます。そんな中、年中組では、「バケツのこおり」（福音館書店）という絵本を子どもたちと一緒に読みました。バケツの中に水を入れ一晩放置しておくと、翌日には水面に薄い氷が張っていますよ。という内容です。好奇心旺盛な年中組の子どもたちは、絵本を読み終わった瞬間に「先生！今日やってみようよ！」ということで、早速チャレンジしました。子どもたちと相談して、①水のみ ②葉っぱ入り ③おはじき入りというように3つのバケツを準備しました。そして、園庭に一晩放置しておきました。すると…。



「氷できてるかな？」とワクワクしながら登園してくる子どもたち。



バケツの表面には薄い氷の幕ができている子どもたちも大喜びでした。みんなで作った氷をそっと触ってみました。「つめた〜い」と言いながらうれしそうなお子様たちでした。